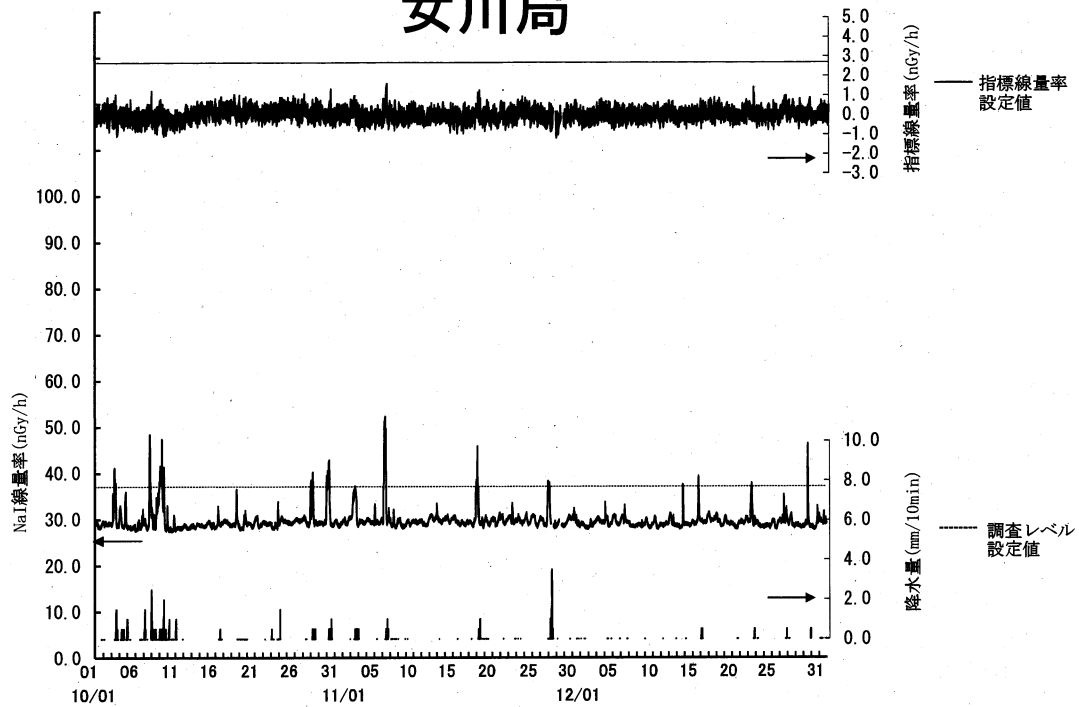


指標線量率関連資料

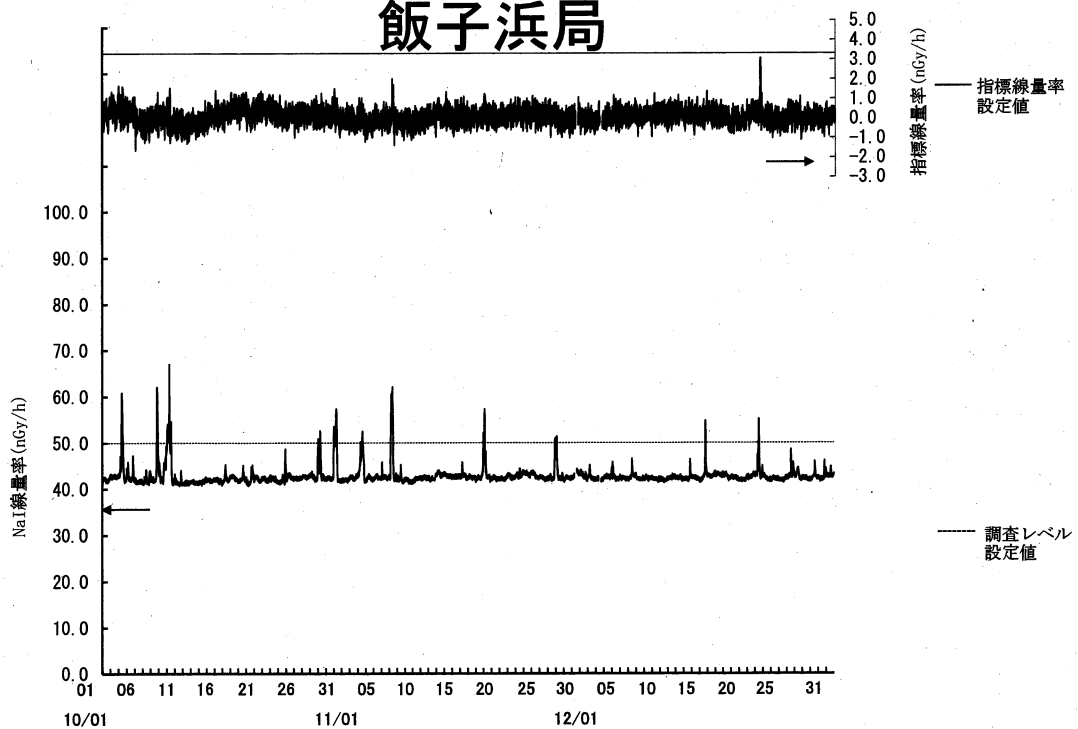
令和6年度第3四半期

女川局



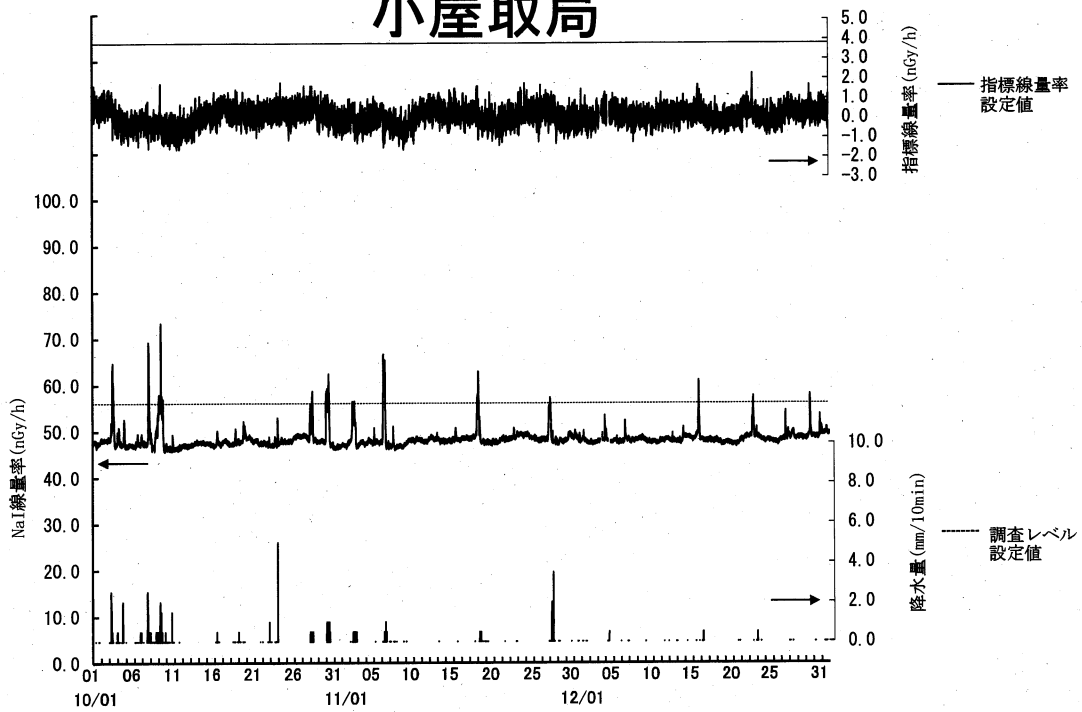
(注) 11月27日及び28日の欠測は定期点検によるものである。

飯子浜局



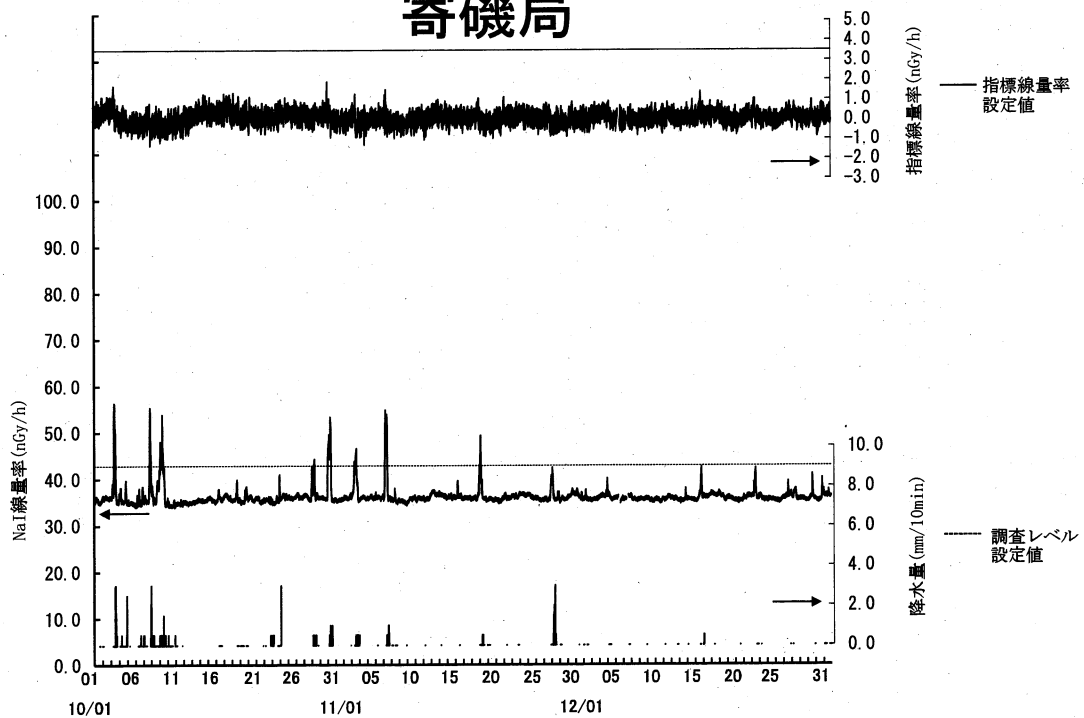
(注) 11月29日及び12月2日の欠測は定期点検によるものである。

小屋取局



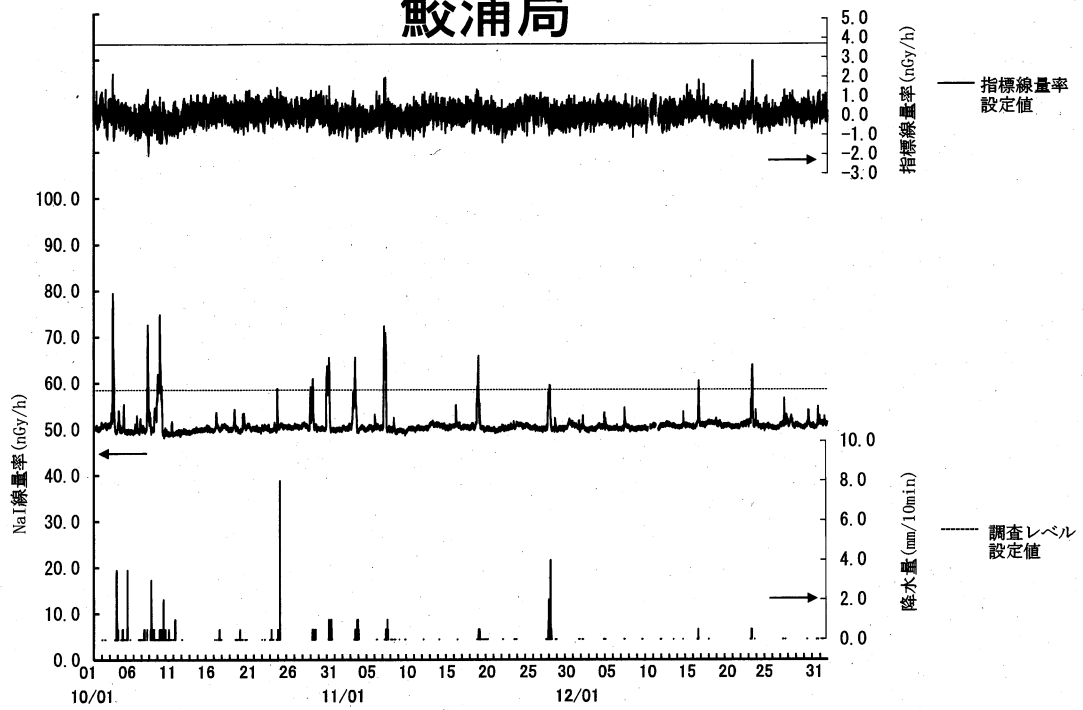
(注) 1 2 月 3 日及び 4 日の欠測は定期点検によるものである。

寄磯局



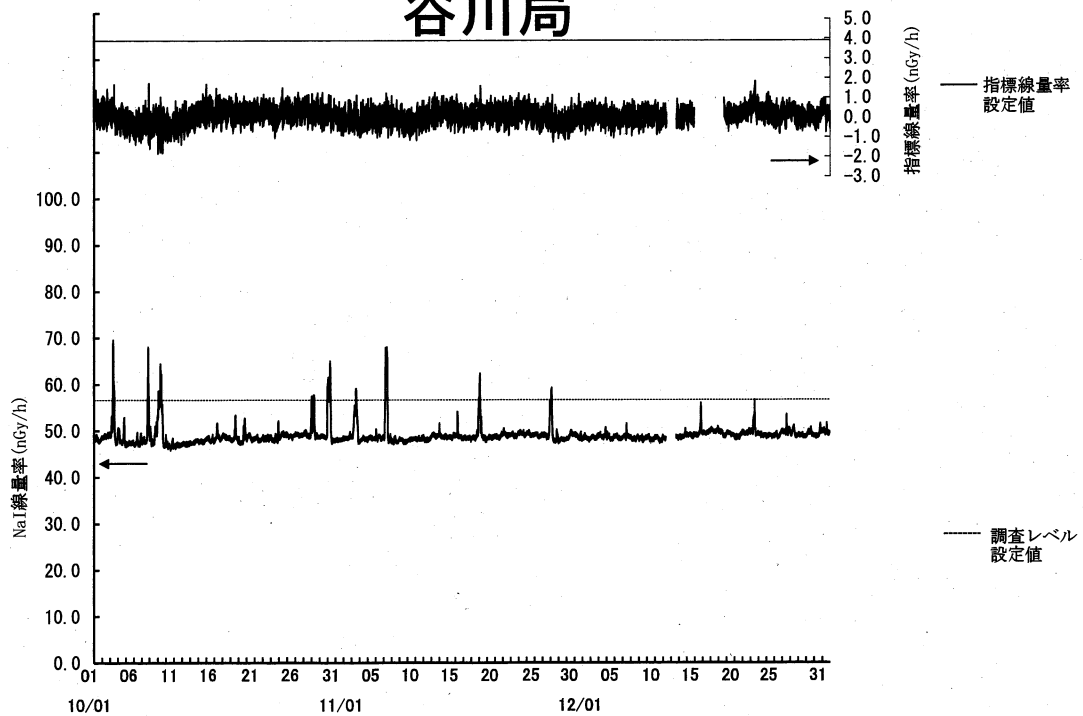
(注) 1 2 月 5 日及び 6 日の欠測は定期点検によるものである。

鮫浦局



(注) 12月9日及び10日の欠測は定期点検によるものである。

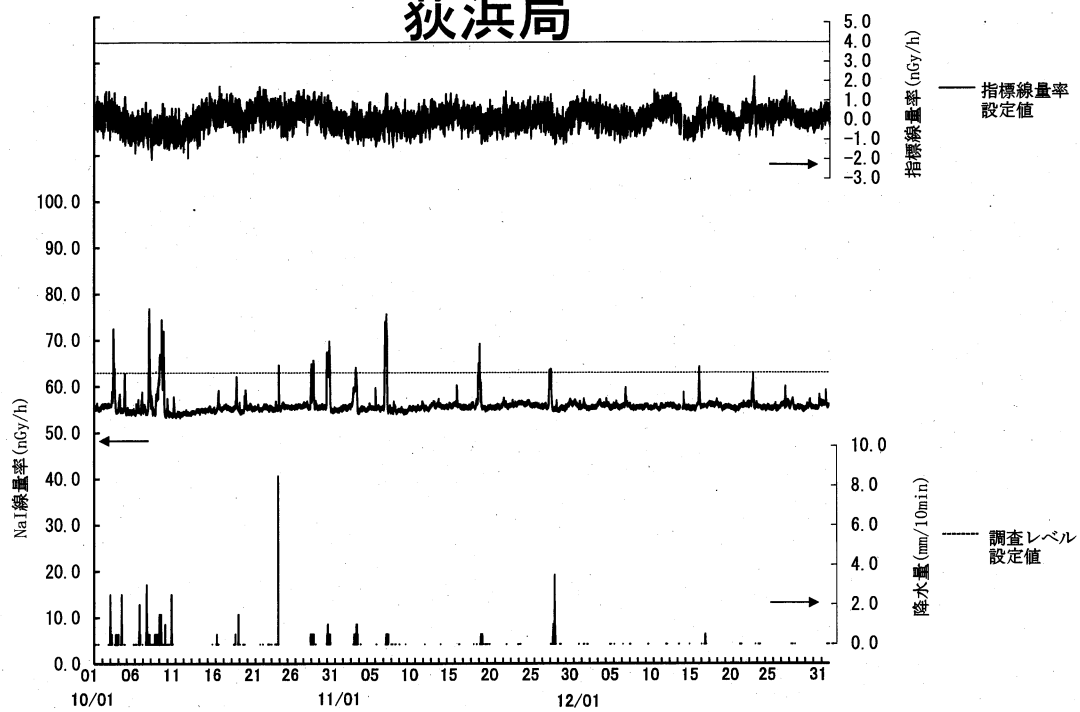
谷川局



(注) 12月11日及び12日の欠測は定期点検によるものである。

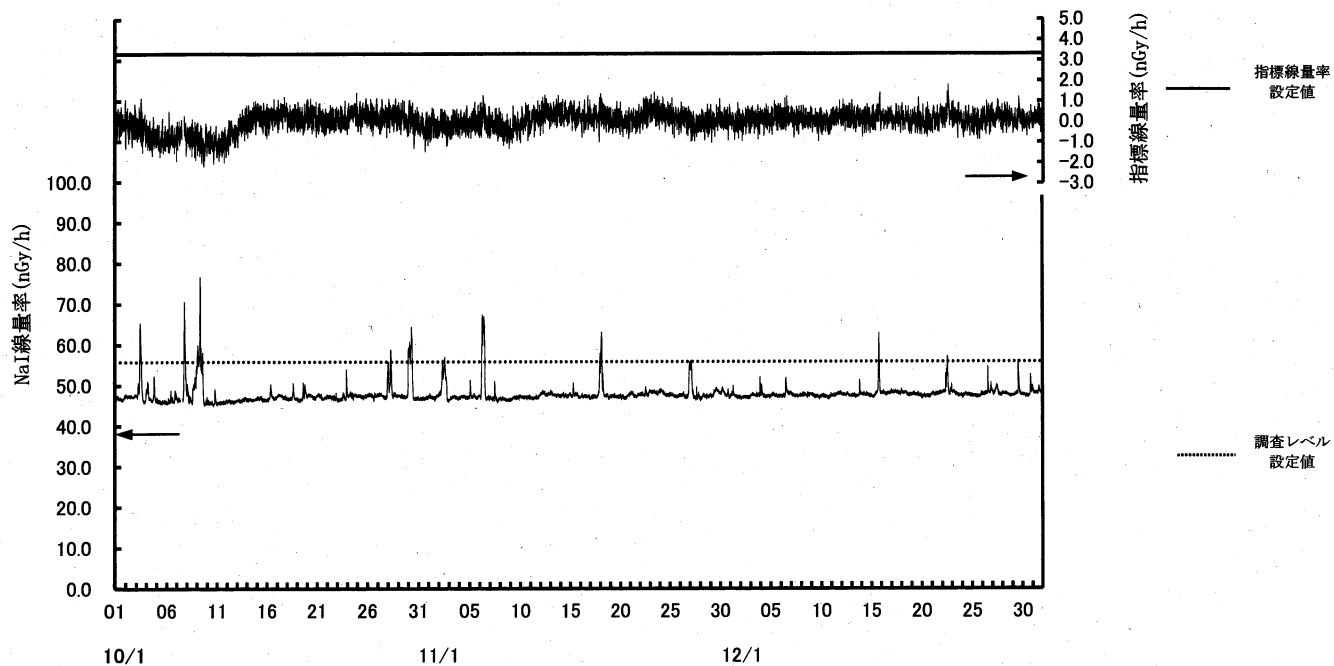
指標線量率における12月14日～18日の欠測は、スペクトルの伝送に不具合が生じ、指標線量率の計算ができなかったことによるものである。

荻浜局



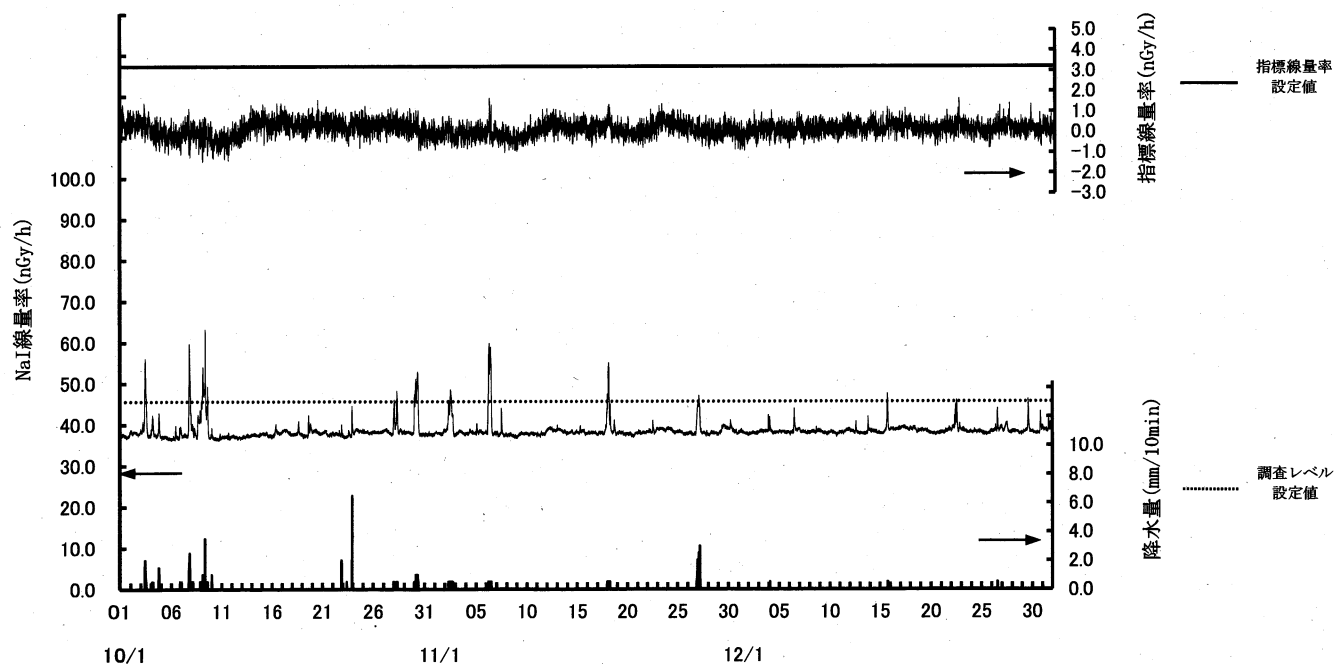
(注) 12月13日及び16日の欠測は定期点検によるものである。

塚浜局

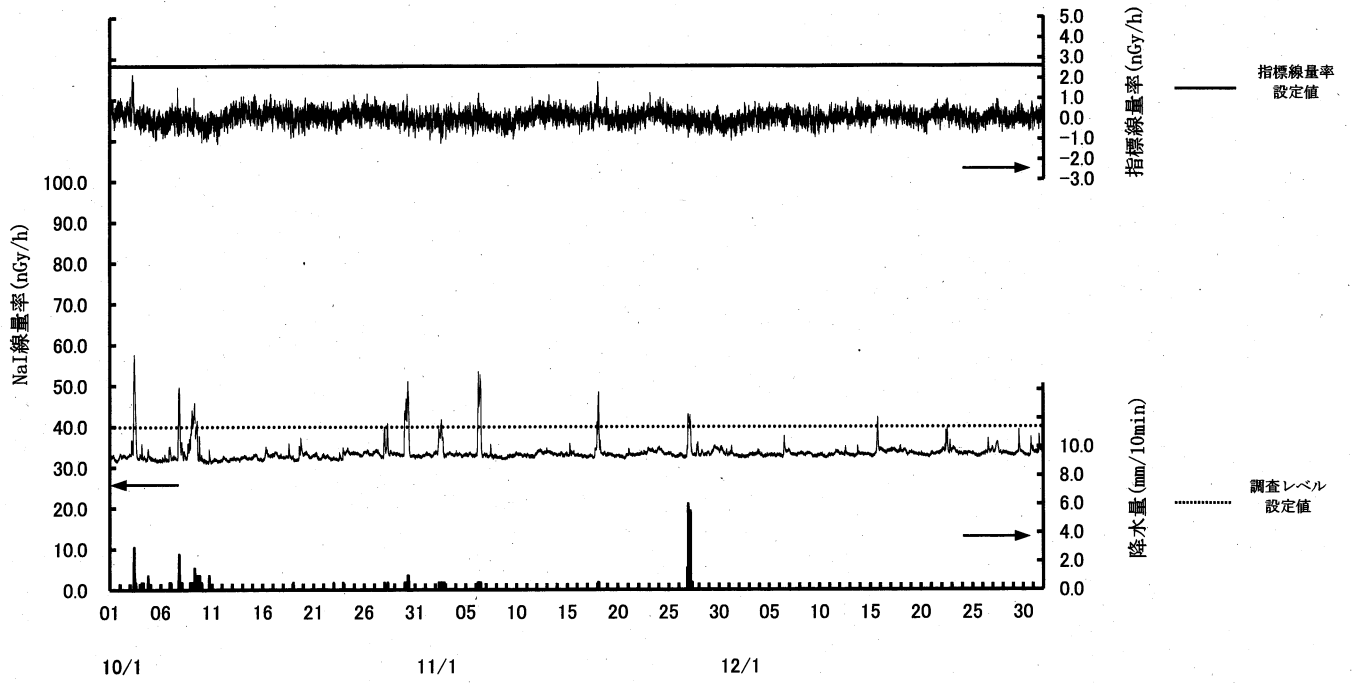


(注) 10月7日の欠測は、定期点検によるものである。

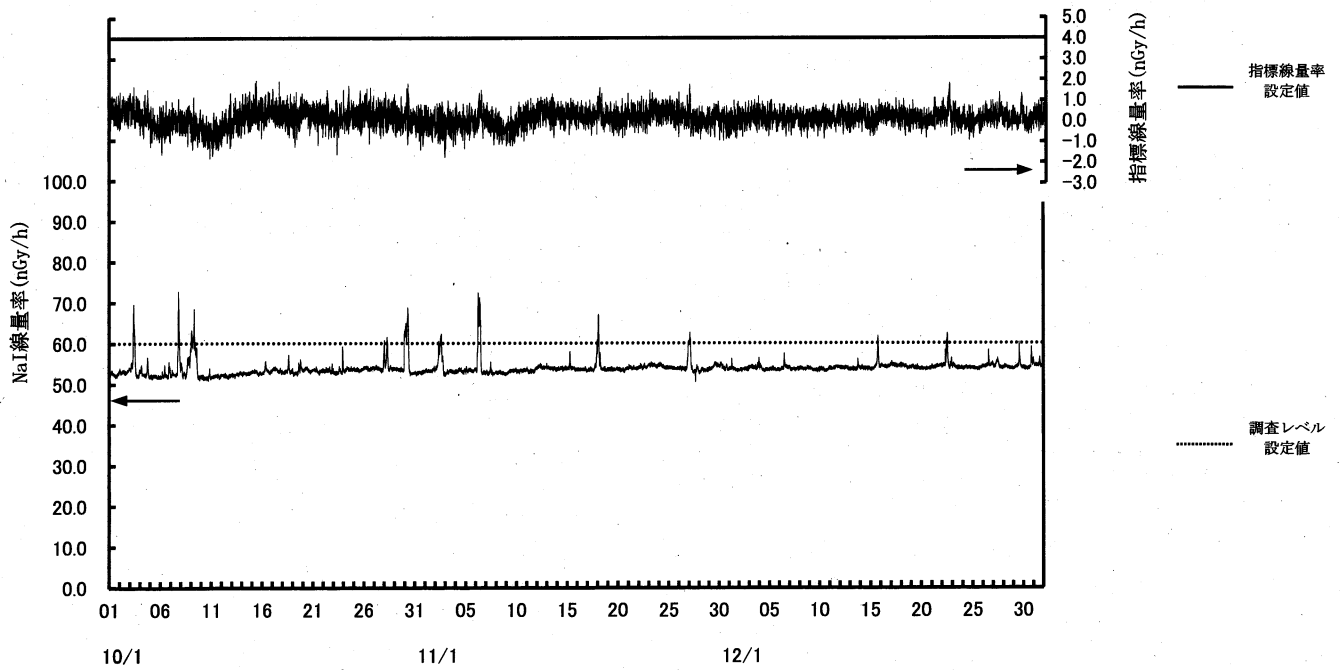
寺間局



江島局



前網局



(参考)

空間ガンマ線量率監視における指標線量率設定値について

1 従前から運用していた7局

該当時期	指標線量率設定値 (nGy/h)						
	女川局	小屋取局	寄磯局	塚浜局	寺間局	江島局	前網局
～平成28年度	2.0						
平成29年度	NaI(Tl)検出器の下方2πに設置していた鉛遮へいの取り外しにより、指標線量率の最大値や標準偏差が約2倍となったことから、指標線量率設定値の2倍の4nGy/hを暫定設定値とすることとした。						
	4.0						
平成30年度～	指標線量率の標準偏差はNaI線量率と相関があることから、指標線量率設定値を一律とせず、局ごとに設定することとした。 従前の設定値である2.0nGy/hは、指標線量率の標準偏差の各局平均値0.27nGy/hの約7.4倍だった。 従来と同程度のスクリーニングの割合を確保する観点から、平成29年度における各局の指標線量率の標準偏差の7.4倍を新たな指標線量率設定値とした。						
	2.7	3.8	3.5	3.3	3.2	2.6	4.0 [※]

※前網局については試算値が5.4nGy/hとなり、暫定設定値4.0nGy/hより大きくなったため、監視水準を低下させないよう、4.0nGy/hを継続することとした。

2 令和元年度から運用を開始した4局

該当時期	指標線量率設定値 (nGy/h)			
	飯子浜局	鮫浦局	谷川局	荻浜局
令和元年度～ 令和3年度	令和元年度より運用を開始したモニタリングステーション4局については、過去データが無いため、平成29年度における既設局の暫定設定値を当面準用することとした。			
	4.0			
令和4年度～	過去データが蓄積されたため、指標線量率の設定値を検討し、既設局と同じ設定方法で算出することとした。			
	3.3	3.7	3.9	4.0